

藤本 貴大さん

母校・西合志南中学校で講演

～失敗しても終わりじゃない ひたむきに前を向いて～

10月24日、スピードスケート・ショートトラック競技の元オリンピック選手で本市出身の藤本貴大さんが、母校である西合志南中学校で講演しました。藤本さんは、後輩となる生徒たちに向けて、これまでの経験をもとにした熱いメッセージを語りました。

スケートの練習は好きでしたが、遊びたくても遊べない状況を窮屈に感じることがありました。スケートをやめたいと思ったこともあります。しかし、私自身スケートに助けられることも多く、また、両親やコーチなど支えてくれる人がいました。自分だけの力ではなく、周りのサポートがあったおかげでスケートを続けることができたのだと思います。

私の中学生時代
中学生の頃の私は勉強があまり得意ではなく、周りが大きく驚くような運動能力でもありませんでした。授業中も落ち着かず、当時の先生方にもご迷惑をおかけしたことがあったかもしれません。しかし、そんな私にも打ちこむものがありました。それが、3歳から続けていたスケートでした。

周りの人たちのおかげで続けられた
スケートの練習は好きでしたが、遊びたくても遊べない状況を窮屈に感じることがありました。スケートをやめたいと思ったこともあります。しかし、私自身スケートに助けられることも多く、また、両親やコーチなど支えてくれる人がいました。自分だけの力ではなく、周りのサポートがあったおかげでスケートを続けることができたのだと思います。

藤本 貴大 (ふじもと たかひろ) さん
Profile —プロフィール—
1985年3月13日合志市(旧西合志町)生まれ
西合志東小学校、西合志南中学校、文徳高等学校を卒業後、山梨学院大学へ進学。2006年にトリノオリンピックで男子5000mリレーに出場。大学卒業後は株式会社セルモに就職し、2010年にバンクーバーオリンピックで男子500m・1000m・1500mに出場。日本代表選手として冬季オリンピック2大会連続出場を果たした。2013年12月に現役を引退し、現在は仕事を続けながら日本スケート連盟の全日本強化コーチとして、主に小・中学生の指導にあたっている。

高校生の頃、大事な大会直前にけがをして出場できなかつたことがあります。当時の絶望感はとても大きく、復帰するまでは自分との戦いでした。精神的にも体力的にも辛い経験でしたが、スケートをやめたくないという思いから、コーチと二人三脚で必死に練習したことを憶えています。その翌年、それを乗り越えて得た勝利は、何物にも代えられないものだと感じました。これが勝つということなのか。そこからいい意味で「勝ち」に対して貪欲な自分になりました。

オリンピック出場が変わった意識
「勝ちたい」から「負けられない」へ
大学生になると、「勝ち」に対する意識が変わりました。初めてのオリンピック出場を機に、それから出場する全てが「負けられない」レースになったのです。「勝ちたい」と思っていると、負けそうな状況になったときに諦めてしまいます。「負けられない」と思うと、どんな状況になっても最後まで力を振り絞ることができる。そう感じました。

失敗しても終わりじゃない
高校や大学への進学、将来の夢、なりたい自分など、皆さんにも今追いかけているもの、目標があると思います。では、目標は達成できたらそこで終わりなのでしょうか。または、夢が叶わなかったらその人は敗者なのでしょうか。私の場合は現役のスケート選手を引退したもう夢がないのでしょうか。そうではありません。現在の私は新しい生活をスタートし、これまで支えてくれた人たちへの恩返しを目標に頑張っています。

これからの長い人生で、行き詰まって悩むことが必ずあると思います。そのとき、負けずにひたむきに前を向いてほしい。良くないことも、自分にとってプラスになるよう前向きにとらえてほしい。失敗しても決して敗者ではないのです。今皆さんにある時間を大切に、そのときそのときの目標と向き合っって前向きに頑張らしましょう。



熊本県防災消防航空隊ヘリコプター「ひばり」と勇敢な隊員の皆さん

10月26日、西合志第一小学校で、合志コミュニティの各地区を対象に市総合防災訓練を実施しました。この訓練は、災害時の避難行動訓練や救急法訓練などを行ない、市民の知識と技能の向上を目的として、毎年、対象地域を変えて実施しています。

訓練当日は、住民の皆さんをはじめ菊池広域消防本部、大津警察署、自衛隊や市社会福祉協議会などの関係者約500人が参加しました。



上) 災害ボランティアセンターの設置訓練 右上) 一時避難場所から広域避難所まで移動する参加者 右下) 菊池広域消防本部による救急法訓練

午前8時30分、地震発生を想定したサイレン放送を合図に訓練がスタート。参加者は公民館など各区の一時避難場所へ安否確認後、広域避難所の西合志第一小学校に避難参加しました。

参加後は、熊本県防災消防ヘリコプター「ひばり」による上空での散水消火訓練が披露され、参加者はその迫力に圧倒されていました。グループに分かれての各種訓練では、救急隊員による救急法訓練や市消防団による消火訓練などを実施。また、自衛隊員の指導



上) 消火栓放水体験 右上) 土のう構築訓練 右下) 吹き出し訓練

のもと、市消防団員も土のう構築訓練で水防技術を学ぶなど、真剣な表情で取り組んでいました。閉会後は、炊き出し訓練のカレーの試食もありました。陸上自衛隊第42普通科連隊と各区の協力者により、大鍋で約300人分が調理されました。

災害はいつ発生するかわかりません。普段から準備し、非常時に適切な対応ができるよう備えておくことが重要です。この訓練を機会に、各家庭や職場、地域で防災について話し合い、災害に備えた取り組みの輪を広げることと、みんなで災害に強い地域を作りましょう。

今月の表紙



10月25日、農業公園カントリーパークで行なわれた2014こうし市秋祭りのひとコマ。今年で13代目になる弁天様が、福のおすそ分けとして財宝に見立てたお菓子などを振る舞いました。詳しくは4～5ページをご覧ください。

今月の主な話題

2014こうし市 秋祭り	4
菊池地域合同特集 一寸先は、詐欺。	6
ボランティアの輪を広げよう	10
市役所・各施設の 年末年始の閉庁日・休館日	18